

愛知教育大学 学生寄宿舍 建物概要

■ 建物概要

| | |
|------|--|
| 名称 | 愛知教育大学 学生寄宿舍 学生寮(F棟) |
| 所在地 | 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1(愛知教育大学構内) |
| 延床面積 | 770.49㎡ |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 4階建 |
| 設計 | 株式会社 あい設計 |
| 工事監理 | 愛知教育大学 財務部 施設課 |
| 施工 | (建築) 株式会社 近藤組 (機械) 株式会社 中京技研 (電気) 株式会社 東海電工社 |
| 工期 | 平成23年8月～平成24年2月 |
| 部屋数 | 女子用 32戸(内、車いす利用者用 1戸) |
| 階高 | 2.8m |
| 外部仕上 | 【屋根】 塩化ビニル系シート防水(断熱工法) 【外壁】 アクリル系塗材(湿式外断熱工法) 【建具】 アルミニウム製建具 鋼製建具 |
| 内部仕上 | 【床】 ビニル床シート 【壁】 ビニルクロス 【天井】 ビニルクロス |
| 電気設備 | 電灯設備、動力設備、情報通信網設備、火災報知設備 |
| 機械設備 | 給水設備、排水設備、空調設備、換気設備、衛生設備、 ヒートポンプ式給湯器 |

■ 整備の目的

本学の学生寮は刈谷市井ヶ谷団地内に立地し、公共交通機関の交通アクセスに恵まれていないことから入寮希望者が多い。このことにより入寮には居住地が遠距離である学生を優先する等の制限を行っている状況であり、かつ留学生の増加に伴う留学生宿泊施設が不足しているために新たに1棟建設することとした。また、既存学生寮の各建物は昭和44～45年に建設され、現在まで大型改修が実施されておらず、経年劣化により老朽化が著しく、学生寮で生活している学生の生活環境が低下している。このため、今回新たに学生寮を計画し寮室及び留学生宿泊施設不足を解消するとともに、良好な住環境のもと勉学に勤しむ環境を整備することを目的としている。

■ 設計の趣旨

・環境配慮

ライフサイクルコストの低減を課題とし、二酸化炭素排出量削減及び環境負荷低減を実現するため、外断熱、屋上外断熱、複層ガラスを採用している。
設備面ではLED照明やヒートポンプ式給湯器の採用により省エネを意識したものとなっている。

・色彩計画

内装、外装共に白を基調とし、周辺環境との調和を図るとともに、清潔感や、さわやかさを強調した。

・平面計画

1フロアにつき8戸の計画とし、全室を南向の同一プランとし公平性と快適な居住性を確保した。
1階には車いす利用者が利用出来る浴室とトイレを備えた寮室を計画した。
各寮室にユニットバスを設け寮生の生活の利便性を確保した。
階段室に隣接してホール(コミュニティスペース)を設け、寮生のコミュニティ促進を図った。
バルコニーには避難はしごを設け、各室からの2方向避難を確保した。



【南東立面】



【北西立面】

愛知教育大学 学生寄宿舍 配置図・キープラン

【寮室】



室内



室内



ユニットバス・トイレ

【車椅子対応寮室】



室内



車椅子対応便所

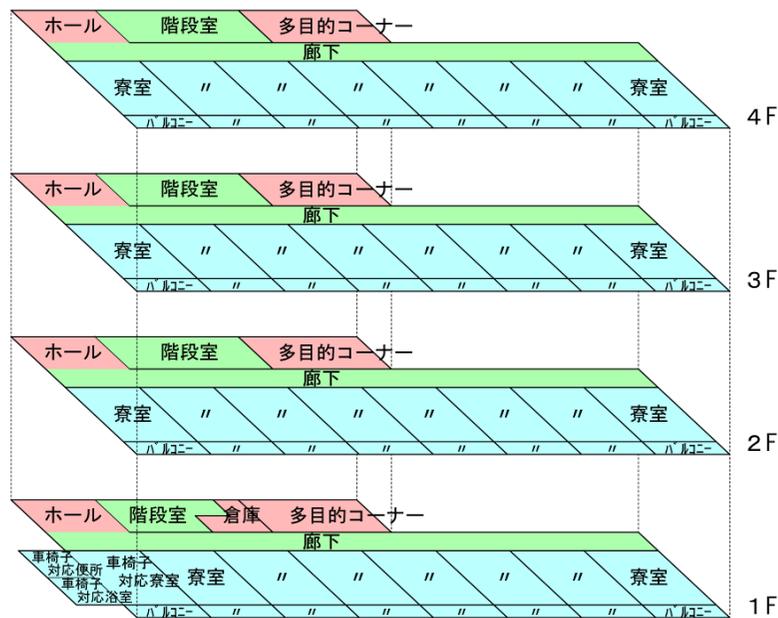


車椅子対応浴室

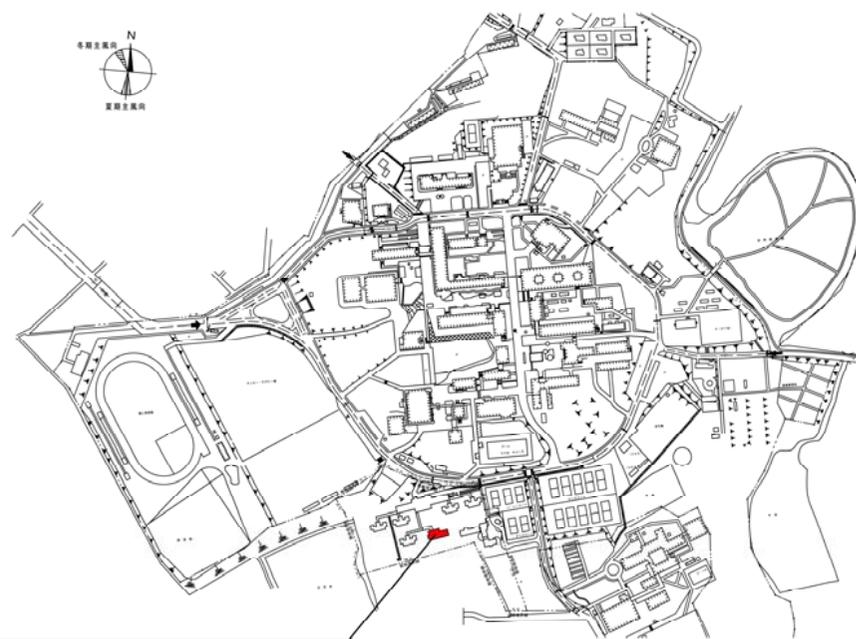
【多目的コーナー】



【廊下・ホール】



キープラン



学生寄宿舍新棟 (学生寮F棟)

井ヶ谷団地配置図